

# 貸借対照表

平成30年11月30日 現在

株式会社ゴーセン

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	3,154,015	負 債	2,939,761
現金及び預金	249,552	流動負債	1,624,811
受取手形	109,384	支払手形	76,917
電子記録債権	181,632	電子記録債務	302,965
売掛金	941,906	買掛金	212,735
棚卸資産	1,510,325	短期借入金	850,000
その他	179,411	その他	182,194
貸倒引当金	△ 18,194		
固定資産	1,333,159	固定負債	1,314,951
有形固定資産	1,123,338	長期借入金	1,300,000
建物	265,894	長期預り保証金	12,900
構築物	17,403	その他	2,051
機械及び装置	136,305		
車両運搬具	310	純資産	1,547,413
工具器具備品	38,227	株主資本	1,540,121
土地	599,574	資本金	100,000
建設仮勘定	65,625	資本剰余金	0
無形固定資産	5,652	利益剰余金	1,440,121
電話加入権	1,800	利益準備金	25,000
ソフトウェア	3,852	繰越利益剰余金	1,415,121
		(当期利益)	(175,210)
投資その他の資産	204,170	評価・換算差額等	7,291
投資有価証券	31,589	株式等評価差額金	7,291
出資金	156,538		
破産更生債権等	9,206		
貸倒引当金	△ 9,206		
その他	16,043		
繰延資産	0		
資産合計	4,487,174	負債純資産合計	4,487,174

## (注記事項)

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

## (1) 資産の評価基準及び評価方法

## ①有価証券

子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの 株式については期末日前1ヶ月の市場価格の平均等、それ以外については期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定している。）

## ②棚卸資産

製品、原材料、仕掛品 移動平均法による原価法

貯蔵品 個別法

## (2) 固定資産の減価償却の方法

## ①有形固定資産

主として定率法によっている。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっている。

## ②無形固定資産

定額法によっている。

## (3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金 ……債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

②賞与引当金 ……従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担額を計上している。

## (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

## ①外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理している。

## ②消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2. 当期純利益金額 175,210,490 円